

第9回 市長と話そう 津山づくりミーティング ～鳥獣被害から地域を守る～



市内に9つある津山市鳥獣被害対策実施隊で活動する4人が、10月4日に市長と意見交換をしました。同隊は対象鳥獣の捕獲に従事しています。（捕獲には免許取得が必要です。）野生鳥獣による農作物被害は営農意欲の減退や耕作放棄にもつながるといわれています。

参加者 活動のきっかけは自分の作った農作物が被害にあって収穫できなかったことです。

参加者 実施隊の活動を地域の皆さんに知ってもらいたい。

参加者 捕獲にはわなを使うことがほとんどで、管理に苦勞しています。農家の方などが設置している進入防止のため電気柵に効果を感じています。

市長 自分の暮らす地域を自分で守るという意識が、さらに必要になってきていますね。

参加者 加入はあっても活動が続かず高齢化が進んでいる隊もある一方、新しい加入者ががんばっている隊もあります。

参加者 活動中のリスク対応を確認していきたい。

市長 実施隊によって様子が違うところもあることも分かりました。皆さんと一緒に整理しながら活動を広く知らせていきたいです。被害は減少傾向がみられることもあり、活動の成果に感謝します。



■参加者への事後アンケートの声

- ・他の地区の問題点と考えていることなどを聞いて良かったです。自分の地区での今後の活動に役立てたいと思います。
- ・このような話し合いの場はとても良いことと思います。もう少し深いところまで話し合いたかったです。



(左から)神田直人さん、福本庄司さん、谷口市長、堀江政由さん、時尾誠さん